

複雑化、多様化する子どもの課題を解決するためには、チームによる支援や保護者・専門機関とつながることが大切です。つながり方のポイントをまとめています。

## Point 1 校内でつながる ～チームによる指導・支援～

### ●サインに気付いたら、相談を！●

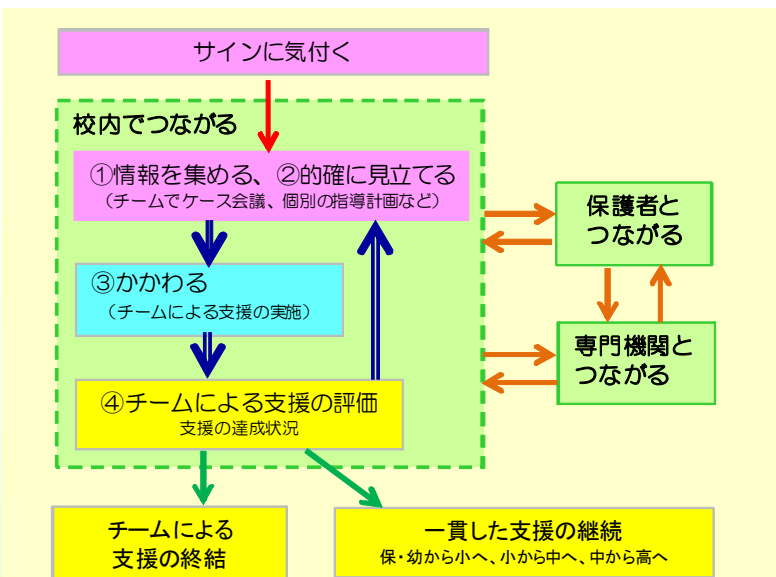
子どもの変化に気付いたら、多くの人と情報交換してみることが大切です。事態を悪化させないためには、学級担任だけで対応できるか、学年団だけで対応できるかなどについて、複数の教員で判断する必要があります。

### ●チームによる支援●

チームによる支援が必要と判断した場合は、ケース会議を開いて、見立て(アセスメント)や解決のための指導計画を検討します。

また、チームによる支援を行う場合には、教員、保護者、教育委員会、関係機関や地域との連絡調整役(コーディネーター役)が必要です。

支援のプロセスは、①「情報を集める」、②「的確に見立てる」、③「かかわる」、そして④「チームによる支援の評価」を支援の終結に至るまで繰り返します。



## Point 2 保護者とつながる ～保護者と共に考える～

### ●保護者とつながる心構え●

保護者の気持ちや願いなどを共感的に受け止め、子どもの具体的な様子から課題を共有し、一緒に子どもの成長を支援するという姿勢が大切です。

### ●保護者とつながる方法●

- ・連絡帳で・・・学校の様子、家庭の様子を互いに連絡し合います。
- ・学級通信で・・・よい点や向上した点を中心に載せます。
- ・授業参観で・・・事前に授業の目当てや学習内容を知らせます。
- ・懇談会で・・・事前に話し合う内容を知らせ、意見をまとめておきます。
- ・家庭訪問で・・・計画的に実施する家庭訪問は、子育てについて話し合う良い機会です。
- ・電話連絡で・・・ほめるべきことを中心にします。

保護者が相談する気持ちを持てるかどうかは、信頼関係があるかどうかです。日頃からつながり、お互いに話しやすい関係を作りましょう。

### ●保護者面接のポイント●

- ・服装と言葉遣いへの配慮が必要です。
- ・プラスの情報を具体的な話で伝えます。
- ・まずは来校していただいた労をねぎらう言葉をかけます。
- ・保護者の話に耳を傾けます。
- ・学校がしていこうと考えていることに、家庭への協力の依頼を加えるようにします。
- ・長くても1時間から2時間の範囲にします。
- ・最後は玄関まで見送りましょう。

学校からの電話は、一般的に好意的に受け止められませんが、可能な限り会って話しましょう。



## Point 3 専門機関とつながる ～より専門的な立場から～

専門機関は、学校への相談だけではなく、子ども・保護者への直接的な相談・指導・治療で協力を得ることができます。子どもの問題解決に向けて早期から専門機関と協力し相互支援が必要なケースもあります。より専門的な立場からの支援の必要性を感じたら、学校内のケース会議を経て、専門機関へ相談しましょう。

### ● 教育関係の例 ●

どこに相談すればよいか迷った時、見立てや指導に係る専門的なアドバイスがほしい時の一番身近な相談機関です。気軽に相談してみましょう。

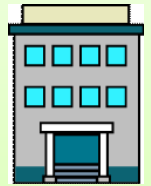
綾部市教育委員会学校教育課  
 福知山市教育委員会学校教育課  
 舞鶴市教育委員会学校教育課  
 各市教育支援センター(適応指導教室)  
 (やすらぎルーム、けやき広場、明日葉)  
 中丹支援学校中丹教育支援センター  
 舞鶴支援学校トータルサポートセンター  
 通級指導教室  
 (綾部小・惇明小・昭和小・明倫小・倉梯小・  
 綾部中・南陵中・白糸中)  
 府総合教育センタートータルアドバイスセンター



### ● 保健・福祉関係の例 ●

子どもの発達課題についての相談はもとより、本人の生活の基盤である家庭環境、家族のことについて相談ができます。また、福祉サービス(手当や手帳の発行)等の相談にも対応してもらえます。

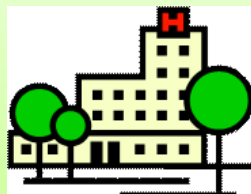
家庭児童相談室(綾部市民生児童課)  
 家庭児童相談室(福知山市子育て支援課)  
 こども総合相談センター(舞鶴市子ども支援課)  
 各市福祉事務所  
 民生・児童委員、主任児童委員  
 各市保健センター  
 福知山児童相談所  
 中丹東保健所、中丹西保健所  
 京都府発達障害者支援センターはばたき  
 発達障害者中丹圏域支援センター「青空」  
 初期型ひきこもりに関する訪問支援「チーム絆」  
 綾部若者サポートステーション  
 京都府認定フリースクール「聖母の小さな学校」  
 舞鶴こども発達支援施設さくらんぼ園  
 福知山市障がい児・者地域・家庭相談支援センター  
 「てくてく」(社会福祉法人福知山学園内)  
 中丹こども家庭センター(社会福祉法人舞鶴学園内)



### ● 医療関係の例 ●

発達障害や神経症の診断、投薬、専門的治療が必要ではないかと思われた場合、相談してみましょう。しかし、保護者との丁寧な相談を積み重ね、課題を十分共有してから医療との相談を勧めましょう。

舞鶴医療センター  
 舞鶴こども療育センター  
 綾部協立病院  
 綾部市立病院  
 福知山市民病院 等



### ● その他 ●

その他にも学校からの相談を受け、アドバイスを受けたり、実際に支援の協力を得られる専門機関があります。  
 少年サポートセンター(福知山警察署内)、  
 綾部警察署、舞鶴警察署

### 特別支援教育の視点から

学校には、単に学校教育の場面だけでなく、保護者、地域と協働し、専門機関なども含めた社会総がかりの取組をリードしていくことが求められています。

校内でつながり、保護者や専門機関とつながり周囲の人々が連携して支えることにより、子どもたちは、周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を実感し、安心や自信、誇りや責任感を高め、意欲を引き出します。すべての子どもが「包み込まれているという感覚」を実感できるようにしていくことが、教育にかかわる者の責務の一つです。

